



介護予防教室 「元気が出る学校」

◎ 介護保険課 介護予防係 ☎(232)2366

座ったままでできる体操や簡単なレクリエーションなどを行います。

■ 日時 9月14日(月)～2月1日(月)

毎週月曜日(祝日を除く)

午前10時～午後2時

■ 場所 総合交流ターミナルさんふれあ

■ 内容 運動指導士と看護師による健康チェックと体操指導

※送迎とバランスの良い食事付き。必要であれば入浴時も見守ります。

■ 対象者 次の全てを満たす人

① 65歳以上の介護保険サービスを利用していない人

② アンケート(基本チェックリスト)の結果、要支援・要介護状態になる可能性が高いと判断された人

■ 費用 800円(食事代含む。温泉入浴料は別途実費負担)

■ 申込期限 9月7日(月)



介護予防健診 ウェルネスチェック!

◎ 介護保険課 介護予防係 ☎(232)2366

体力と筋量を測定し、健康運動指導士が健康づくりのアドバイスをします。

■ 日時 10月14日(水)

午後2時～午後4時

(受付:午後1時30分～)

■ 場所 ふれあい交流・福祉支援センター

■ 内容 高精度筋量計フィジオンを使った筋量測定、体力測定、健康運動指導士のアドバイス

■ 対象者 65歳以上の人

■ 持参物 老眼鏡(必要な人)、室内シューズ

■ 定員 20人(先着順)

■ 申込期限 10月9日(金)

地方創生の実現に向けて

菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

第1回菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を8月6日、菊陽町役場で開催しました。

推進会議には幅広い分野から14人が参加。会長には熊本学園大学経済学部の荒井勝彦特任教授が選出されました。今後、推進会議での意見や提案を参考にして、町の人口の分析や人口推計などを記載した人口ビジョンと、雇用の創出や子育て支援の施策を盛り込んだ総合戦略を策定していく予定です。



▲委員からさまざまな意見や質問が出ました

おトクな商品券販売中

菊陽町プレミアム付商品券の販売開始

菊陽町プレミアム付商品券が小学生未満のお子さんがある世帯には8月3日、一般世帯には8月17日から販売されました。

商品券を手にした町民からは「家計の助けになる」「子どもの学習教材などに使う」など、さまざまな声が寄せられています。

ショッピングに、プレゼントに、食事にと、さまざまな用途で使えます。通常販売は10月10日まで。購入がまだの人はぜひご検討ください。



▲プレミアム付商品券販売店舗の様子

浄化槽の保守点検、清掃、法定検査

浄化槽を設置し、使っている人には、保守点検や清掃、法定検査が義務付けられています。適正な時期に行いましょう。

■ 保守点検

点検や調整、修理、消毒剤の補給などです。時期は処理方式で異なります。専用の器具などが必要なため、保守点検業者に委託しましょう。

■ 清掃

汚泥の引き抜きや機器類の洗浄などを年に1回以上(全ばっ気式は6カ月に1回以上)行わなければなりません。町の許可業者(中野衛生 ☎(232)0636)に委託してください。

■ 法定検査

保守点検や清掃が適正に行われ、浄化槽が正常に機能しているかどうかを検査するもので、年に1回受検しなければなりません。熊本県浄化槽協会 ☎(284)3355から送られてくる受検申し込みはがきで申し込んでください。

■ 問い合わせ

環境生活課 環境係 ☎(232)2114



阿蘇くまもと空港 空の日フェスタ2015

皆さんが楽しめるさまざまなイベントを開催します。ぜひお越しください。

■ 日時 9月12日(土) 午前10時～午後4時

■ 場所 阿蘇くまもと空港

■ イベント内容(予定)

- ・YS-11機内特別一般公開
- ・パイロット・CA制服着用写真撮影
- ・スタンプラリーによるガラポン抽選会
- ・麻葉探知犬模範訓練紹介
- ・あそらくん写真撮影会
- ・フラダンス、ベリーダンス など



■ 問い合わせ

阿蘇くまもと空港空の日実行委員会事務局

☎(232)2853

日本の伝統芸能に触れる

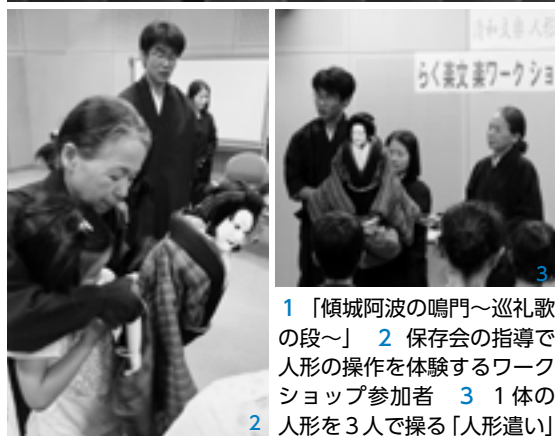
合併60周年記念「清和文楽人形芝居 菊陽公演」

菊陽町合併60周年記念事業「清和文楽人形芝居 菊陽公演」が8月8日、図書館ホールで行われました。

本公演前に実施された「らく楽文楽ワークショップ 菊陽」には25人が参加。参加者は清和文楽人形芝居保存会の指導のもと、人形浄瑠璃の基礎知識を学んだり、三味線の音色や浄瑠璃語りに耳を傾けたりしました。その後、参加者は人形操作も体験。初めての人形操作に苦戦していましたが、保存会の丁寧な指導とサポートの中、終始笑顔で取り組んでいました。

目「傾城阿波の鳴門」巡礼歌の段」が上演されました。しなやかな中にも時に力強さを感じる人形の動きや太夫の情感あふれる語り、三味線の音色で、親子の情愛を見事に表現。観客は子どもから大人まで真剣に見入り、伝統芸能の世界に引き込まれていました。

終演後はホワイエで「ふれあいタイム」。観客は人形を持った保存会の皆さんと人形操作体験や記念撮影などをして交流を楽しみました。訪れた観客は「とてもすてきな舞台でした。次は清和に見に行きま」と目を輝かせていました。



1 「傾城阿波の鳴門～巡礼歌の段～」 2 保存会の指導で人形の操作を体験するワークショップ参加者 3 1体の人形を3人で操る「人形遣い」